□連載小説〈5〉

帰宅

谷原幸子
え・西村功

百合は、転勤で戻って来た兄夫婦の仮住居になる古い隠居所の壁を塗り始めた。

一昨日は、壁にあいた小さな穴がどうしてもうまく塞がらず、その周囲も斑らなままにして志摩の海べりへ出かけたのだが、今朝帰って来て見に来たら、そっくり一昨日のまま、その壁面は取り残されていた。

兄嫁の両親は、百合が不在の一日の間に、階下の襖や障子の張り替えをすませ、その日は二階の整理を手伝っていた。どさっと、何かを畳に投げ出す音に混って、笑い声が時々下まで聞こえていた。

台所に、流し台を据え付ける職人が来ていて、兄の徹が仕方なさそうな顔付きで、彼等の仕事振りを眺めていた。

百合は、次第に小さな、奥の深い穴を塞ぐ作業に没頭し始めた自分に安堵していた。でも、躍気になって鏝を動かすと、つい手許に力が入り漸く塗り付けた他の部分の壁材がポカッと剝がれて足許へずり落ちて来る始末で、新聞用紙を広げた薄暗い廊下に生ぐさい壁材の匂いが充満していた。

百合は、苛だたず、考えないことにして、唯一心に便所の傍の薄汚れた古い壁に向かって慣れぬ鏝を動かし続けた。しかし、ともすれば、あの海が見えてしまうのだった。

（丘、菜の花、蛸壺、寺、歩く、風、時間、帰る、窓、ストーブ、匂い、時間、魚、食べる、唇、傷、妻、夫、にんにく、仕事、帰る、妻、夫、家、時間、帰る…）最後は、なぜか帰って来てしまう言葉遊びを打ち切るために、百合は、あえて正面から貝沼の顔を見据えようとした。（あの人は、どこへ帰るのだろう）

今朝、二人は朝食を断って宿を出た。風の強いのは、昨日以上で、二人は黙ってバスの停留所へ風にさからって歩いた。

バス停の小さな売店は、シーズン外れは、閉め切りらしく、軒先に出したアイスクリームのボックスの覆いは、厚い砂埃りを被ったままはためいていた。貝沼のコートの裾も、百合のネッカチーフも直向から吹きつける砂混りの風に巻き上り、顔も痛いほどだった。売店の裏へ回れば少しは風が防げそうだったが、一日に数えるほどしか通らないバスに乗りはぐれる怖れがあった。そんな早い時間に、風の中でバスを待つ者は二人の他にいなかった。百合と貝沼は、半ば目を閉じて風の中にたっていた。

貝沼は、もう言うだけのことは言ったというふうで、百合から少し離れた場所にいた。百合は、国道の向かい側の田んぼの中にあるセメント会社の巨大な煙突の先を一心に眺めていた。煙は出ていず、建物全体も数台のミキサー車もひっそりしていた。（きょうは日曜だった）

あの木原時計店の老主人が、シベリヤで死んだ息子の最後の事を兄に聞くために訪ねて来る筈である。昨日、ここへ来がけにあの店でサングラスを買ったのは、遠い昔の不思議な出来事のように思われた。百合は、風の中で、この旅で殆んど使うことのなかったその眼鏡を取り出して掛けた。

荒々しい雲の底に冷たく澄んでいた青空が物哀しいセピヤに変って、その視界の中で貝沼の顔がふと百合の方

へ向いた。唇の傷は少し離れると全く目につかない。百合は、大きなレンズの奥から彼に微笑を送った。しかし、貝沼はすぐに顔をそむけてしまった。（拗ねてる子供みたい…）百合は、薄茶色の視界の中から、風にはためいている貝沼のコートの色をしっかりと目に収めた。（この人は、結局、どこへ帰る人なのか）

足許の新聞紙の上へうず高くたまった壁材をぼんやり眺めていると、ジャケットのポケットへ両手を突っ込んだ徹が来た。

「ここは随分寒いな。もうやめろよ。こんな場所、どうだっていいんだ。それにしても、ゴテゴテ塗り付けてくれたな。ひどい厚化粧だ」

「だって、この穴、みっともないでしょう。いくら塗ってもうまく塞らないの。こんなにずり落ちてしまって…もう使えない」

「素人に無理だよ。本当は、元の壁をすっかりこそげ落して、平らにして塗るんだ。不器用な者に出来やしないよ。それに、このうちは、早急にこわして建て直さなくちゃ、根太もすっかりやられてるよ。戦争中に無理して建てたうちだからね。痛み方もひどい」

「この穴、こんなとこにずっとあったの」

徹は、返事の代りに大きなくしゃみをした。

「木原のおやじさんて、せっかちだね。ゆうべの電話で、きょう会うことになったんだが、今朝、まだ寝てるうちにまた電話で、今からお伺いしてよろしゅうございますか、だ。まだ七時過ぎたばかりだぜ。親としては、無理もないけどね。あの時、木原の引越先を探して手紙をやっとけばよかった。あの頃は、こちらも慌しかったからな」

「あの人は、もうとっくに息子さんが死んだのは納得しているわ。そのくせ、この二十何年、自分でそれを確かめるまでは承知出来なかったのね。戦死の公報なんて信じないで、息子さんの最後を確かめるために孫の男の子を連れて方々歩いたらしいの。それが生甲斐みたい。最後を自分が認めた時に、息子が本当に自分の所へ帰って来ると思っているらしいわ」

「息子が必ず親の所へ帰るとは決っていないさ。しかし、木原礼二は確かに死んだよ。でも、なんだか、それを話してしまうと、きょうでその人の生甲斐がなくなるようで気の毒だな」

「そうじゃないでしょう。やっぱり、息子が本当に帰って来たと思うわ。きっと」

「ところで百合はいくつになったの」

「兄さんより十七年下よ。もうやめようかな。この壁」

「ああ、よせよせ。ところで、お前、ゆうべはどこへ行ったんだ。いっしょに行った友達というのは男じゃないのかい。そんな相手、いるんだろう」

「いたら、たった一晩で帰って来ないよ。そのまま、どっかへ行っちゃうよ。東京か、カナダか、どっか遠くへそいつと行っちまうよ」

「それもそうだな。でも、こんなうち、いつ出たっていいんだぜ。かあさんは、これから俺が見るさ。会社の方だって嫌ならいつでもやめろよ。女は頑張っちゃいけない。もっとも、長い間、この古家やおふくろを押し付けておいて今更好きにしろもないもんだが…しかし、これからは、百合自身の自由にしろ。早くこんな古い家から出た方がいいよ」

「そう煤られると出て行けないわよ。いつまでもこのうちにいるよ。それより兄さん、二階へ行ったら…向こうのお母さん達にあまり手伝わせたら悪いんじゃない」

徹は、背中を丸めて二階へ上って行った。

木原老人が訪ねて来るまでに壁の穴は埋めておこうと百合はまた鏝を持った。今朝、鳥羽の駅で貝沼と別れてから数時間たっていた。百合は、覚めたあとの夢の続きをつぎ足すような白々した気分でその数時間前を思った。

貝沼は、鳥羽の駅で、ふだんと変らぬ顔付きで、じゃあ、と名古屋方面行きのホームへ別れて行った。その様子は、百合の気紛れは取り上げぬことにし、自分は予定どおり東京へ先に行く。当然あとから百合は来るだろうと考えているようでもあり、百合が、別れて自分の家に戻るというのなら、その意志を認めるべきだと思っているようにも受け取れた。

百合は、反対側のホームへゆっくり上って行き、そこに停まっていた普通車に乗った。（あの人は、どこへ帰って行くのだろう）

貝沼の妻だ、と百合が勝手に想定していた、あの赤いブラウスの女の像はもう浮かんで来なかった。律義で有能な社員の顔と、単身海外に永住しようとする男の顔が百合の中で交錯した。百合は固く目を閉じた。ゆうべの寝不足と朝の砂塵のために瞼がじんじんした。思わぬ涙がその乾いた目を浸した。百合は、サングラスを掛け、底冷えのきついガラ空きの車内で身体を固くしていた。

「門」の宗助は、お米が、―ほんとうにありがたいわね。ようやく春になって―と言ったのに対して、足の爪を切りながら、―うん、しかし、またじきに冬になるよ―と答えている。貝沼に向かって、春になってありがたいわね。と言う女は誰だろう。貝沼は、宗助のように、またじきに冬になるよ。と言わぬ筈だ。彼は彼らしく、至極当然な顔付きで、ああ、暖かくなったね。と言うだろう。宗助のように、春の陽光の裏に冬の闇を見通すことなく、春の次に来る長い夏の盛な営みに力を注ぐべく努力しようとし、冬に備えて、ごく平静に皮下脂肪を蓄えていく人間である。（あの人は、ひょっとしたら、あれで、とんでもない野心家かもしれぬ）そう思うと、ふとおかしさがこみ上げてきて、百合は他人に構わず顔をゆるめた。前の席に、小さな女の子を連れた若い女がいて、百合の思い出し笑いをまじまじと見ていた。親子揃

って、口の尖った、カラス天狗のような表情がおかしくて、百合は下を向いて、本当に声を出しそうな笑いを堪えた。またしても涙がサングラスの中に溢れてきた。笑いませんよ。と、貝沼と親しく口を利き始めた頃のように、百合は口の中で言った。でも、百合の中の貝沼は、自分からは決して笑わぬ顔をそ向けたままだった。

約束の三時きっちりに、木原時計店の老主人は、孫の冬彦を連立って訪ねて来た。徹は客を母家の古い応接室へ通した。

「木原伍長に会ったのは、ノンジャンの収容所から、ブラゴチェンスクへ連れて行かれる途中でした」

徹は、すぐに切り出した。木原老人は、緊張した顔で手帖を取り出した。

「ノンジャンというのは、やはり、シベリヤの方で」

「いや、当時の満洲です。今の中国東北部ですか。そこから、十日ばかり、黒竜江に沿って歩きました。その途中で、ひょいと横を見たら木原君がいました。それまでは別の隊にいたのですが、いくつか集めてシベリヤ送りとなり、全く偶然にそこで出会ったというわけです。木原礼二君は、背の高い頑丈な兵隊でした」

徹は、古い記憶を呼び出すために時々顔を仰向けて目を閉じたが、話し振りに淀みはなかった。百合は、年の違う兄の体験の深部を初めて見る気がした。

「最後の収容所は、マグダガーチという寒村で、いくつかの丸太小屋へ五百人ばかり入れられました。木原君は、兵隊を連れて山奥へ、伐採に行ったり、道路造りや鉄道の路盤建設なんかに精力的に働いていました。初めのうちは」

「初めのうちは、でございますか」

「ある時、伐採に行って、大きな木が倒れるのをよけそこなった兵隊が足を折りました。大腿骨が飛び出すほどの大怪我

で、指揮に当たっていた木原君は、応急の副木を当てて、非常に難儀しながら運び下して来ました。しかし、怪我した兵隊はろくに医者にもかかれず、苦しみ抜いて死にました。仮に医者が来てもあそこじゃ何も出来なかったでしょう。もともと、みんな栄養不良で弱っていましたし、木原君は、その兵隊が死んだのを自分の責任のように考えていて、それから急に元気がなくなりました。食糧もひどくなる一方でした」「食物のことは、今まで色々な方に会う度に聞かされました。松葉や雪も食べたそうで」

「引き揚げに近い頃は、粟が、カラ付きのまま配給されて、それは、何時間炊いてみても絶対にカラは取れんのです。わたしも若い頃は、かなり腹減しの方でしたが、さすがにそれだけは食べませんでした。でも、木原君は食べていたようです。少しでも体力を付けようとしたんでしょう。日本へ帰るあてが無いといっても、そんな所でくたばりたくはなかったですからね。誰でも」

「礼二は、その粟を食べたのですな」

老人は、鉛筆の手を止めて徹の顔を見詰めた。粟が、木原礼二という、若い兵士の運命を決めたというように、徹は、辛そうな顔をして頷いた。母が、そんな重い空気を割るように脚を引き摺って入って来て、皿に盛った甘藷の輪切りを客に勧めた。「嫌ね。お母さん。おいもなんて失礼ですよ」と、百合は言ったが、老人は、柔和な表情に戻って、「いや、大へん懐しゅうございます。殊に、きょうは、こういうのが何よりのご馳走で」と、一つ取り、ゆっくりと口に運びつつ、「お互いにこのお陰で、今日まで生きてこられたようなものでございます」

と言った。母は、よい話相手を得た喜びで顔の色艶もよく、珍しく笑い声を立てた。

「これは、嫁の母親が、電子レンジとやらで焼いたのをこちらへもお据分けしてくれたのですが、なんやら芯が固いようで、それでまた、庭の隅に落葉を集めて焼き直したんですよ」「まあ、お母さん、それじゃ、あちらの家まで匂ったんじゃないの」人付き合いの下手な母は、それでも、その甘藷を輪切りにして、それがよく似合う益子焼の皿に盛って、昔馴染の老人をもてなそうとしたのだ。木原老人は手帖を閉じて母の話相手になった。

「あの当時、空襲のある市内へわざわざ引越して行った私共をこの町の方々は妙に思われたでしょうな」

「この町も、近くにあの飛行場がありますから、そう安全やとも申せませんでしたけど」

「親の代からの借財や、そのほかにも、ちょっとしたわけもあり、家も土地も人手に渡して、殆んどあてもなくここを出ました。息子もいつ帰って来るやら、その見込みも立たん時で、先祖からの土地にも、さして未練はござい ませなんだ。息子が帰って来るのは、この土地の家へではなく、親のわたしの許ですから」

「あのちっぽけな飛行場のお陰で、こんな田舎町へもよう敵の飛行機が来ました。このうちも隣りの隠居所も爆弾のために傾いてしもうて…人も一人亡くなりました」

「女の人が亡くなったそうでございますな」

「それが、うちの隠居所の二階でして。この家の隣りに小さな家を建てて、主人の両親が住んでおりましたが、頼まれて、飛行場へ来ていた若い将校さんに、二階を貸しました。亡くなったのは、その人の奥さんで、艦載機が地上掃射とかいうて、動く物は虫けらでもダダと撃ち殺しに来た時、その奥さんは、二階の窓をわざわざ開けて、敵機を見ていて、低空飛行でやられなさったそうです。その弾の跡が、あの家に残っております。長らく閉めていたのですが、今度、これが急にこちらへ転勤になり、取あえずそこに住むことにして、今修繕に大騒動しております。でも、お前、このことは、みほ子さんに言うたらいかんよ。気味悪がって、あのうちを一層嫌うやろ」

母は、終わりは徹に向かってそういった。木原老人は、下を向いて母の話を聞いていたが、ふと傍らの冬彦の横顔を見て言った。

「その隠居所の二階の窓から、敵の飛行機を見物していて殺された若い女は、これの母親でございます」

talk and talk

<神戸っ子愛読者サロン>

★皆様お変わりありませんか。当地は一気に季節交代、秋深しトナリは何をする人ぞ、の季節で木々の緑は一気に黄色に変化し、早や落葉がみられます。なお我二〇二号室のトナリからはイビキが聞えて参ります。この厚い壁を通してだから余程の大男（又は大女）と見えます。

八月中旬、急に降って湧いたドイツ取材の命、あわただしく出発して一ト月を数え少々ホームシックに掛りかけたところへ赤白紺のあのなつかしの「ドイツ菓子ユーハイム」の看板がみえるではありませんか。フランクフルトの観光名所ゲーテハウスの至近という好所です。

飛び込みました。日本人がいる「ちょっとお茶を一杯！」が通じる。うれしい！おまけに地下のレストランでは和食を出すんです。久方振りの飯を、ハシで食い、みそ汁を飲んだ時の気持の素晴らしいこと。しばし飽きることなく茶わんのぬくもり、心地よい割りばしの感触を楽しみました。

ユーハイムの河本専務が陣頭指揮で奮闘（オープン当初は夫人も来て手伝われたとか）中でしたがレストランの註文、精算法の慣習が随分違いますし、ドイツ人はしつこくMENUを尋ねたりしますから、しばらくは仲々大変だと思います。大変感じのよいつくりだし、入り易い店ですから繁盛することを切に祈ります。――証拠品Ⓐ箸ふくろ。

九月に入って約一週間、南ドイツはスイス国境に近い山奥の村、Stetten という村の戦車隊の兵営を撮っていました。タクシーが一台もないという明日香村よりスゴイ所でした。隊長さんは、「兵隊達は、営外へ出ても全然問題（女性、麻薬）を起こさない」といってました。何も無いですモン。以下余白思うままに記します。

ドイツの印象は頑固、質素、融通は零に尽きます。景色美麗、絵葉書そのまま、人情素朴・親切・官僚主義…。トイレットペーパーが質素なことだけは日本も見習わなくては。同じ奇跡の復興といわれる国同士でもいずれ資源の枯渇の時負けてしまうと思いました。

―証拠品Ⓑ未使用のトイレットペーパーの一片。（この続きを小生は使用した！）サヨウナラ

＜フランクフルトにて　西村真一郎＞

☆貴重なトイレットペーパーのサツエイに気を使いました。破れてないよにならへんかと…。

＜編集部＞

★マロニエの色づき始めたパリの秋を肌で感じながら、ロンドンからアンカレッジ経由で東京への帰国の途上です。8／22出発後ウィーンで世界大会に出席。最終日に月乃先生の前年度発表のケイラクハンドが最優秀賞に選ばれ、共同通信にて早くも日本に報道されたとか。そしてまた今年もシデスコからの要請で再び発表後、8／27～8／31の四日間をオーストリア、スイス、イタリー、南アフリカ、ニュージランド、オランダと国際色豊かなメンバーに、文字通り身振り手振りの講習で大奮闘！9／1からわずかに残された日程をスペインそして再び行く事のないであろうモロッコ、特にカサブランカのカスバの街は、異様なムードが印象的でした。パリは日本人の街かと錯覚する程です。来年一月十日より再びスイスにて講習する予定です。

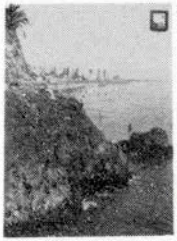
＜ビューティードッグ　のろ＞

★9月号の〝結婚特集〟――若い人々の対談、国際的恋愛、それから結婚しようとする人。若いエネルギーと愛と美であふれていて、美しいです。〝児童の虐待防止活動を〟日本にも時々新聞にてとのようなニュースを拝見します。弱いう方へ暴力を振う人が時々あります。恐ろしいことと思います。生きる権利を考えます。

＜宝塚市　丸木明子＞

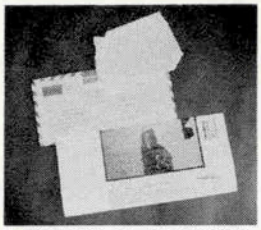
★すっかり秋らしくなりました。先日は月刊「神戸っ子」に「がいな祭り」の記事をのせていただき大変PRしていただきました。読んでいるうちに又あの日のにぎやかさが浮んでまいりました。皆様方のあの一生懸命な元気な姿は忘れられません。

＜米子市　永田祥一＞



マドリッドから

米子がいな祭記念はがき



からのドイツ・ユーハイムの箸袋とトイレットペーパー

PARTY in KOBE

★十一月一日、'76第二回「だしの会」は〝華麗なる（人間まつり）の立体的コンポジション〟をテーマに生田神社会館4階、会費4000円＜申込み／元町画廊＝☎331／2359＞で開かれます。

文化人の受賞記念、出版記念を初め結婚式、銀婚式などいろんなお祝いごとを〝みーんなまとめて面倒みよう〟といった、だしになったり、だしにしたりという神戸らしい人間交流会です。

★オリエンタルホテル

12月24日（金）クリスマスパーティ
第一部／グランドパーティ　5時30分　2000円
第二部　ダンスパーティ　9時30分　1500円
第一部、第二部ともゲスト／いしだあゆみ　演奏／北野タダオとアロージャズオーケストラ

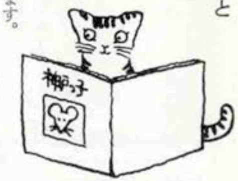
★ロイヤルホテル

11月5日（金）ロイヤルナイト
6時　5000円　司会／安達治彦　演奏／白井克治とニューソニック　古谷充とコンコード
12月21日（火）クリスマスフェスティバル　6時　7000円
12月22日（水）ファミリークリスマス　6時　大人・1500円　小人・1000円　ゲスト／ペギー葉山

★ホテルプラザ

11月17日（水）①7時30分②9時30分　23Fビスターラウンジ　ゲスト／朱里エイコ
12月7日（火）～10日（金）6時　フェアウエル・ジャンボリー　5000円　ゲスト／ロス・インディオス
12月17日（金）18日（土）6時　プラザナイト　S・2500円　A・2300円　ゲスト／モーリンマクガバーン
12月23日（木）～25日（土）①5時30分②8時　1200円　ゲスト／菅原洋一（23日）・しばたはつみ（24日）・上月晃（25日）

神戸っ子と出会う時



月刊「神戸っ子」は思いがけないところでお求めになれます。

★神戸文化ホール ☎(351)3535

★神戸市内のホテル

オリエンタルホテル 神戸市生田区京町 ☎(331)8111

ニューポートホテル 神戸市葺合区浜辺通 ☎(231)4171

ホテル神戸 神戸市葺合区熊内町 ☎(221)5431

ホテル三宮セントラル 神戸市葺合区布引町 ☎(241)5031

六甲山ホテル 神戸市灘区六甲山町 ☎(891)0301

六甲オリエンタルホテル 灘区六甲山西谷上 ☎(891)0333

凌雲荘 灘区六甲山西谷上 ☎(891)0223

★大阪のホテル

ホテルプラザ1Fロビー〈キオスク〉 ☎(453)1111

ロイヤルホテル ☎(448)1121

★京都／若王子 ☎(771)5630

★がれりや馬亜乃 〈キングスコート〉 ☎(043)5005

★神戸の喫茶店

にしむら珈琲中山手店 神戸市生田区中山手通1 ☎(221)1872

にしむら珈琲センター街店 神戸市生田区三宮町二丁目 ☎(391)0669

バロントアロード店 ☎(391)1210

ディラ 神戸市生田区元町2 ☎(331)1271

★神戸のレストラン

デキシーランド（フラワーロード） 神戸市葺合区磯辺通4 ☎(251)7277

れんが亭（トア・ロード） 神戸市生田区下山手通2丁目34 ☎(331)7168

スープとパンの店キャンティ北店 神戸市生田区下山手通3丁目 ☎(331)3661

★スタンド・スナック・CLUB

クラブ小方 生田東門筋中島ビル

バス・チャーリントン トアロード

ヌベール トアロード西入る

神戸時代 北野町 ☎(242)3567

★発行にいろいろお世話頂いた方々

朝比奈隆　青木重雄　砂野仁　乾豊彦　石野信一　石野成明　榎並正一　牛尾吉朗　岡崎忠　小曽根真造　小野一夫　金井元彦　嘉納正治　嘉納毅六　柏井健一　鴨居玲　貝原六一　楠本憲吉　小磯良平　小林芳夫　小泉徳一　小林秀雄

上林英一　後藤末二　古林喜楽　坂井時忠　雀部昌之介　佐藤廉　白川渥　新谷秀夫　塩路義孝　砂田重民　角南猛夫　竹中郁　滝川清一　滝川勝二　武田繁太郎　田宮虎彦　田中健一郎　玉井操　田辺聖子　陳舜臣　高橋孟　津高和一

竹馬準之助　外島健吉　直木太一郎　西村功　西脇親　中巻弘　中西勝　難波還　南部圭三　成瀬香梅　野澤幸三郎　畑専一郎　深水惣吉　福冨芳美　松井高男　宮崎辰雄　宮地襄二　光田顕司　村上正二郎　百崎辰雄　元永定正　行吉哉女　淀川長治　神戸青年会議所

編集後記

★本誌「月刊神戸っ子」の満15周年の記念として設定いたしました「神戸文学賞・神戸女流文学賞」は、予定通り九月中旬をもちまして締切りました。北は名古屋から南は九州まで、全部で一〇〇作品のご応募をいただきました。十一月中に選考を終え、受賞者の発表を行う予定です。この盛況もマスコミ各位のご協力によるものです。紙上をかりましてお礼申し上げます。〈小泉康夫〉

★秋。いよいよ初めてのファッションウィーク開幕。兵庫県デザイン会議で清家清氏いわく「神戸は市電がなくなってからアカンのとちがいますか」小林陸一郎氏「街づくりには情念がいる」といわれた言葉が印象的でありました。〈小泉美喜子〉

★神戸の洋菓子店がファッションウィークに〃ビューティフル神戸〃と題して、お菓子で神戸の街の見どころを再現。市内の菓子店のウィンドーを、菓子の彫刻で飾っての楽しい街づくりをという声も……。〈川端耿一〉

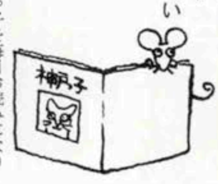
★編集長「オイ、締切り過ぎてるぞ」私「ハア、あのその……」（チクショウ、〇〇の奴。今月も遅れやがって）。心当たりの方は〇〇にご自分の名前を入れて下さい。正解は12月号で、ヒッヒッヒッ。〈佐井裕勝〉

★〈迷路〉とは自分自身の形をしている。けどなかなか脱け出すことは出来ないし、脱け出るのは怖い気もする。本誌二頁の絵本の岡田淳先生の5冊目の本「竜をやっつけるべき騎士〈迷路〉」が完成しました。素敵な本です。ご一読を。〈中村雅子〉

★レコード吹き込みやステージに、神戸の音楽家たちの活動が盛んになってきた芸術の秋。素晴しく暖かな音が夜な夜な聞こえます。〈川崎〉

★一人夜道を歩いていたら、くんくん……懐しく甘い匂い。もう金木犀の花が咲く季節。〈岡田なな子〉

神戸っ子ごあんない



★月刊神戸っ子を毎月お読みになりたい皆さま、また神戸を離れているお友達に、神戸の香りをおとどけになりたい方は、編集室あてにお申込み下さい。さっそくお送りします。

1年分　三〇〇〇円（送料共）

★月刊神戸っ子をお買求めの時には左の本屋さんへどうぞ。

芦屋宝盛館　芦屋市公光町
昭文堂　芦屋市月若町
甲南堂　国鉄本山駅北口
小原光文堂　国鉄住吉駅北口
本山宝盛館　東灘区本山
北村書店　東灘区御影中町
南天荘書店　阪急六甲駅2階
文洋堂　新聞会館1階
ラン書房　葺合区布引町4
神戸図書　生田区古湊通1
コーベブックス　さんちかタウン
流泉書房　センター街
日東館　大丸前
漢口堂三宮店　京町筋
海文堂　元町通3丁目
宝文館　元町通5丁目
隆司書房　新開地本通
漢口堂書店　湊川商店街
秋田百文館　長田区腕塚町
神戸書林　板宿バス停前
木村書店　明石市桜町

★月刊神戸っ子に広告を掲載ご希望の方は編集室へお申し込み下さい。

★神戸百店会の事務局は月刊神戸っ子編集室内にあります。

神戸っ子　NO・187
★発行／51年11月1日
★編集・発行／小泉康夫
★発行所・神戸っ子編集室
神戸市生田区東町113ノ1
大神ビル7階
☎（331）2246（代）
振替口座　神戸45196
頒価　200円

ファッショナブルなコウベの夜を華麗に彩る‥‥

Pafe Kohime 小姫

梅沢　和子

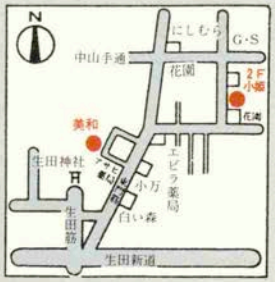
神戸市生田区加納町4丁目神三ビル2F
TEL. 078—332・1098
営業時間 午後6時～午前1時〈日曜祭日休み〉

気楽でシャレたムードで…

スナック

MIWA 美和

生田区下山手通1丁目1 ☎391-3050
PM6～AM1　日曜休



□大井の新メニュー

野趣ゆたかな大井の牛鋤（すき）

（やき肉）

他の店にない独特の味！

すき焼きの元祖は、野外で芝を燃やしながら鋤（すき）の上で肉を焼いたものだといわれています。その風味を現代にとり入れたのが、大井自慢の新メニュー、〝牛鋤（すき）（やき肉）〟です。お肉のうま味を充分に御賞味下さい。只今そごうでサービス値段の１８００円です。

そごう神戸店

本店（元町７）

高級肉料理

大井

本店・神戸・元町７（三越前）
TEL351-1011代
支店・そごう神戸店10F TEL251-0131
柏そごう11F TEL0471-62-0035

神戸のうまいもんとドリンキング

★日本料理

讃岐名代うどん　あこや亭
葺合区旗塚通7－5　☎ 231－6300
トアロード店　☎ 391－2538
兵庫駅前店　☎ 575－5306

北海道郷土料理　蝦夷
生田区中山手通1－115東門筋東門会館ビル1階
☎ 331－7770

和食　くれない
三宮生田新道浜側中央KCBビル2F
☎ 331－0494

鍋もの・おむすび お茶漬・炉ばた　悟味酉
生田区北長狭通1－20　☎ 331－3848
三宮さんちかタウン　☎ 391－5319

たこ焼　たちばな
三宮センター街(旧柳筋)　☎ 331－0572

カニ料理　婆娑羅（ばさら）
生田区北長狭通1－18
三宮阪急西口北側レインボープラザ1・2F
☎ 321－6363

お茶漬・おむすび 鍋もの　ふる里
生田区北長狭通2－1　☎ 331－5535

かっぽう　吉本
生田区加納町3－95－1(ニュージャパン別館前)
☎ 241－3450

★西洋料理

レストラン ティーパーラー　アポロン
葺合区八幡通5－6　☎ 251－3231

レストラン　鹿鹿皮〈あらかわ〉
生田区中山手2－9
☎ 221－8547・231－3315

ピザ&スパゲティ　ガルの店
葺合区琴緒町5－1－7　西山ビル1F　☎ 241－9025

鉄板グリル　きゃんどる
生田区北狭通2－22　☎ 331－1183

ステーキハウス　グリル青山
生田区中山手通2－112－2(トアロード)
☎ 391－4858

ステーキ&ドリンキング　黒牛
生田区中山手通2－39－36　☎ 241－3739

ステーキ&ドリンクス　神戸館
生田区下山手通2－29－3　アマツビル1F
☎ 321－2955

スカンディナビア料理と世界の民族音楽の店　ゴックスタッド
生田区山本通3－18 回教寺院前　☎ 242－0131

GALLERY & STEAK HOUSE　SAN－MON三門
生田区中山手通二丁目98－99　☎ 331－5817

Cafe et Restaurant　アンドゥトワ
生田神社西　伊藤ビル1F　☎ 391－8639

レストラン　スイスシャレー
生田区北野町3－48アニルドマンション1F
☎ 221－4343

レストラン　セントジョージ
生田区北野町1－130　☎ 242－1234

レストラン　男爵
生田区中山手1－18
山手第一ビル1F　☎ 241－0778

メキシコ小料理亭　ティファーナ
生田区中山手通1丁目4－12　パールコーポラスビル1F
☎ 242－0043

maison de la mode　花屋敷
三宮フラワーロード市役所前　☎ 251－0315

ピザ・パブ　ピザ・パテオ
生田区元町通1－49(元町1番街)
☎ 331－9378

フランス料理　ビストロドゥリヨン
生田区山本通2－40－1　☎ 221－2727

ピッツアハウス　ピノッキオ
生田区中山手通2－101　☎ 331－3545

ナイトレストラン　火の鳥
生田区中山手通1－27　☎ 242－1330

ポリネシア料理 海賊焼　フィッシャーマンズポート
神戸港第4突提ポートターミナル
☎ 331－0301

レストラン　フック東店
生田区栄町1－5－3　☎ 321－3207

レストラン　ムーンライト
三宮・生田新道　☎ 331－9554

グリル・鉄板焼　月
☎ 331－2509

レストラン フランス料理　元町フルーツホール
元町1番街　☎ 331－1987

ステーキハウス　れんが亭
生田区下山手通2－34　☎ 331－7168

BARBECUE & STEAK　六段
生田区元町通3　☎ 331－2108

居酒屋 フラメンコショー　ロス・ヒターノス
生田区下山手通3丁目22
下山手セントラルハイツ
☎ 391－5431

レストラン　フック神戸店
生田区栄町2－24　☎ 321－3453

炭焼ステーキ　凱旋門
生田区下山手通2丁目6　新道ビル1F
☎ 321－3378

★喫茶

ティー&スナック　エポック
生田区元町通3(浜側)　☎ 331－3694

喫茶　ガーデニア
生田区東町113－1　大神ビル1F
☎ 321－5114

Objets D'art 美術喫茶　瀬戸 Seto
生田区山本通3－27－9瀬戸ビル1F
☎ 221－6548

宮水のコーヒー　にしむら珈琲店
中山手店・　生田区中山手通1－70
☎ 221－1872・231－9524
センター街店・　生田区三宮町2－35
☎ 391－0669
北野店・山本通2－9☎ 242－2467
(会員制)　3F事務所　☎ 242－1880

コーヒースポット　メディタレーニアン
生田区北長狭通3(トアロード)アーバンビルB1
☎ 331－2050

珈琲　モーツアルト
生田区山本通2－98グランドマンション1F
☎ 241－3961

ファッショナブルゾーン　キングスコート ティーラウンジ　ペントハウス
生田区山本通2－111　キングスコート内
☎ 242－7090

珈琲　ん
生田区三宮町2丁目25（トアロード）
☎ 391－1589

★club

club　飛鳥
生田区中山手通1－117　☎ 331－7627

club　小万
生田区東門筋中島ビル3F
☎ 391－0638・4386

club　さち
生田区中山手通2－75　☎ 331－7120

クラブ　千
生田区下山手通2－21　☎ 391－1077

club　なぎさ
生田区北長狭通2－1　☎ 331－8626

くらぶ　ぶーげん
三宮生田新道浜側中央KCBビル5F
☎ 331－8593

club BAR　MoonLight
BAR☎ 331－0886・391－2696
Club　☎ 331－0157

クラブ　るふらん
生田区北長狭通1－53　☎ 331－2854

★STAND & SNACK

PUB & RESTAURANT　アップランド
生田区加納町3－1－34　☎ 241－8271

サロン　アルバトロス
生田区中山手通1－24－7
大和ナイトプラザ2F　☎ 231－3300

DRINKING IS AN ART OF LIFE　ウッドハウス
生田区下山手通1－32　☎ 241－7320

CAFE WHISKY　〝音楽の家〟ETエトワTOI
生田区三宮町3 三宮センター街西入口
スカイトーアビル3F　☎ 332－1755

純会員制　エドワーズ倶楽部
生田区北長狭通1－28
ホワイトローズビル5・6F　生田新道
☎ 391－3300

SNACK　L & M
生田区北長狭通1－25　生田新道ビルB1
☎ 321－3070

ナイトイン　おしゃれ貴族
生田区中山手通1－24－7
大和ナイトプラザB1　☎ 242－1925

スナック　蘭の花
生田区中山手通2丁目30－1
東門ダイワナイトプラザ5F　☎ 391－4455

スタンド　かてな
生田区中山手通1－90　英健ビル1F
☎ 331－1316

本店洋酒の店　キャンティ
生田区北長狭通2－3
☎ 391－3060・391－3010

北店スープとパンの店
生田区下山手通3－8－9
☎ 331－3661

スタンド　グラムール
生田筋岸ビル地階　☎ 331－4637

スタンド　くる実
生田区中山手通1－72　☎ 331－6985

サロン　神戸時代
生田区中山手通1－28
モンシャトウコトブキビル　☎ 242－3567

カクテルラウンジ　サヴォイ
高架山側　チキの店北　☎ 331－2615

スナック　聚利
生田区下山手通2－8－6　☎ 321－0260

スナック　山荘
生田区北長狭通1－22　☎ 391－5823

music spot　サントノーレ
トアロード店　生田区下山手通2トア・ロード
☎ 391－3822
北野店　生田区中山手通1－24－7
ダイワナイトプラザ6F　☎ 221－3886

スナック　レオパルド
生田区中山手通2丁目30－1
東門ダイワナイトプラザ6F　☎ 391－0992

DRINK SNACK　スネカジリッ子
生田区下山手通2 永晃ビルB1
☎ 391－8708

Wine and something　珍地理屋
生田区中山手通1－24－7
大和ナイトプラザ1F　☎ 242－0288

素舌洞　でっさん
生田区北長狭通1－258　☎ 331－6778

ティー&パブハウス　デューク・ウェリントン
生田区北長狭通2(トアロード)
☎ 332－1125

スナック　ビジービー
生田区中山手2　☎ 391－4582

スナック&ドリンク　姫
生田区中山手通1－18　☎ 221－1950

ドリンク&レストラン　ベルビュ・ドール
生田区中山手通2－101　大洋ビル2F
☎ 321－5677

居酒屋　ボルドー
生田新道浜側中央KCBビルB1
☎ 331－3575

STAND　マシュケナダ
生田区中山手通2－30－1 東門大和ナイトプラザ2F
☎ 331－5587

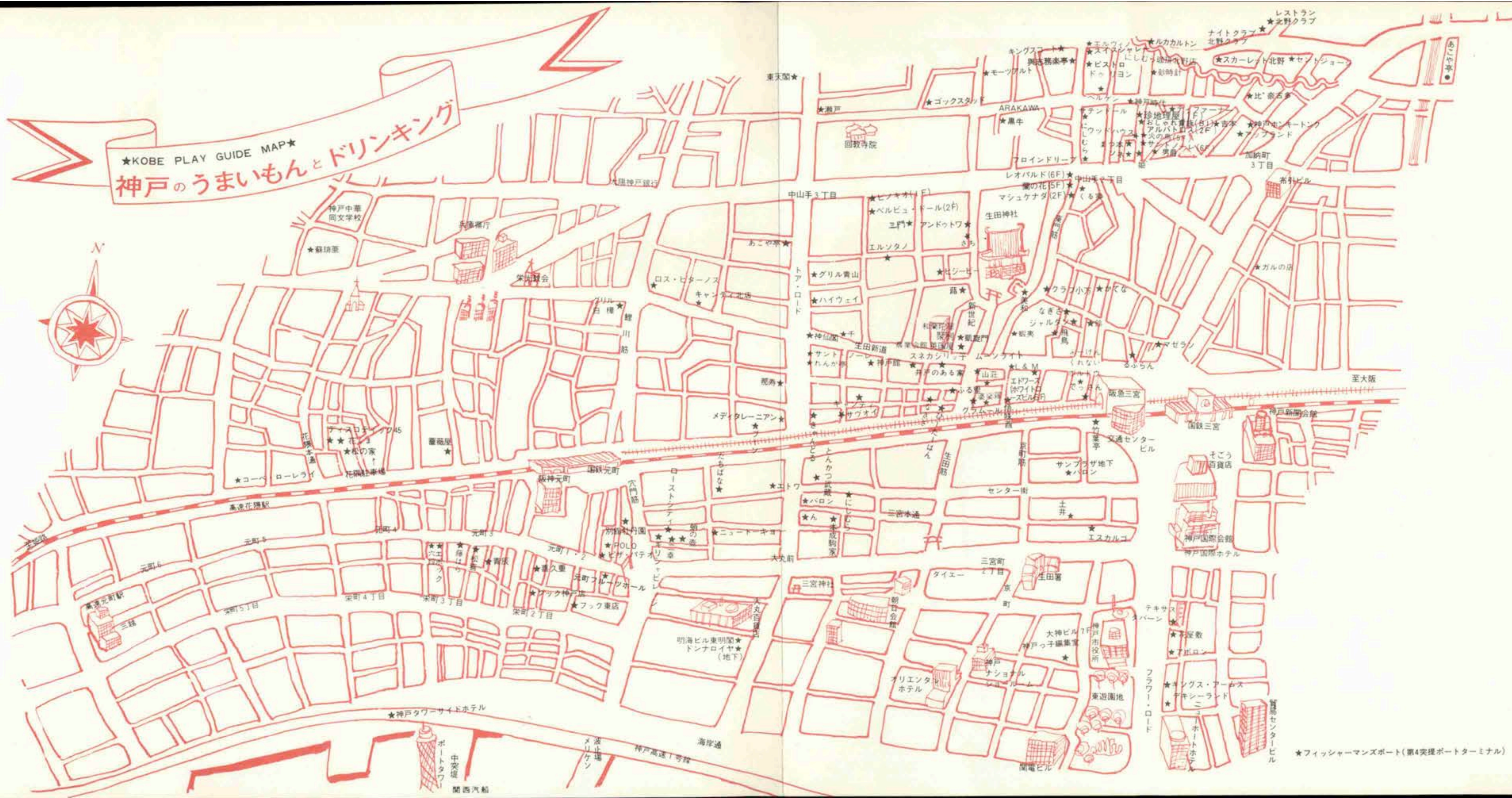
スナック　美和
生田区下山手通1　☎ 391－3050

スナック　興志務楽亭
生田区山本通2－60パールライフB1
☎ 242－1977

ティー&カクテルラウンジ　ルカカルトン
生田区北野町3－2－67　☎ 241－4323

ウエスタンパブ　神戸ホンキートンク
生田区加納町2－30
☎ 241－2161

パーラー　サンデリカ
生田区中山手通1－90
☎ 392－1434～6



★KOBE PLAY GUIDE MAP★
神戸のうまいもんとドリンキング
N
★蘇琺票
神戸中華
同文学校
兵庫県庁
栄町教会
ロス・ピターノス
キャンディ北店
グリル
白樺
鯉川筋
中山手３丁目
★ヒノキヤ(1F)
★ベルビュー・ドール(2F)
アンドウトワ
生田神社
あこや亭
トア・ロード
★グリル青山
★ハイウェイ
★神仙閣
生田新道
サント
★神戸館
山荘
ふる里
キーノブ
★サヴォイ
グラム
メディタレーニアン
★エトワ
★パロン
★ん
不成駒家
ニューヨーク
大丸前
ティスコテイク45
★松の家
花隈本通
花隈駐車場
★コーベ・ローレライ
薔薇屋
阪神元町
国鉄元町
高速花隈駅
元町４
元町５
元町６
元町３
元町１・２
六門筋
ローストシティ
元町プルーツボール
★POLO
★ピザ・パテオ
高速元町駅
三越
栄町５丁目
栄町４丁目
栄町３丁目
栄町２丁目
★フック東店
明海ビル東明閣★
ドンナロイヤ★
（地下）
大丸百貨店
三宮神社
朝日会館
★神戸タワーサイドホテル
ポートタワー
中突堤
関西汽船
波止場
メリケン
神戸高速１号線
海岸通
東天閣★
★瀬戸
回教寺院
★ゴックスタッド
★モーツァルト
キングスコート★
ARAKAWA
★黒牛
フロインドリーブ
レオパルド(6F)★
マシュケナダ(2F)★
★くる美
★ビジービー
★クラブ小万
★かくな
京町筋
センター街
サンプラザ地下
★パロン
土井★
★エスカルゴ
三宮本通
三宮町
１丁目
生田署
タイエー
大神ビル７F
神戸っ子編集室
神戸
ナショナル
ショールーム
オリエンタル
ホテル
東遊園地
神戸市役所
フラワー・ロード
関電ビル
★ルカカルトン
★スカーレット北野
★セントジョージ
ナイトクラブ
北野クラブ
レストラン
★北野クラブ
あこや亭●
★比奈古屋
★神戸ホンキートンク
★アップランド
加納町
３丁目
布引ビル
★ガルの店
★マゼラン
至大阪
阪急三宮
国鉄三宮
神戸新聞会館
交通センター
ビル
そごう
百貨店
神戸国際会館
神戸国際ホテル
テキサス
★アポロン
★キングス・アームス
テキシーランド
ポートホテル
貿易センタービル
★フィッシャーマンズポート（第4突提ポートターミナル）

第2回ルカ・カルトン ゴルフ クラシック

さわやかな秋空のもと　第2回ルカ・カルトン　ゴルフクラシックが　9月22日　東亜相生カントリークラブで開催されました　当店3階カクテルラウンジのボトルメンバーなら　どなたでも参加できます　第3回(来春4月予定)にはぜひご参加下さい

第2回ルカ・カルトン
ゴルフクラシック成績

優 勝　鈴木博史(69)	第5位　豊田洋令(74)
第2位　石田博康(71)	第6位　増田　繁(74)
第3位　辻　了一(71)	第7位　中本秀司(75)
第4位　石見義之(72)	第8位　平松顕一(75)

紅葉の北野の山並、異人館の散策のあとはルカ・カルトンへおこし下さい。彫刻のあるスタインウェイの白いピアノがあなたとの夜をご一緒致します。優雅な雰囲気を満喫できる夢の館。

11月ボトルサービス　　サントリーリザーブ　4，800円

お酒　お食事

Lucas Carton

ルカ・カルトン

神戸市生田区北野町3 ☎241-4323～4
PM5:00～PM11:00 日祝休 1F駐車場

Night in Kobe

ジャズライヴの店

SATIN DOLL

生田区中山手通1 ☎ 242−0100
PM6〜AM4 無休

ジャズライヴの店として親しまれている〝サテンドール〟では、結婚披露宴やクリスマス、忘年会など、フリードリンク制のパーティの予約を受け付けています。詳しくは当店で。

メキシコ料理の店

TIJUANA

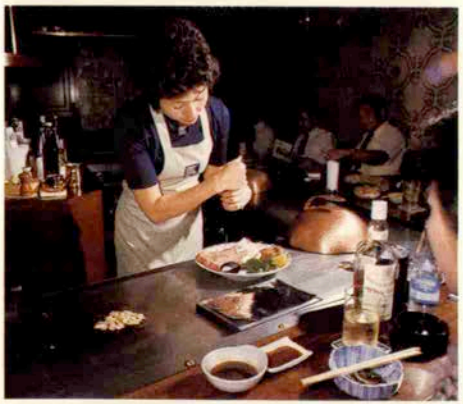
生田区中山手通1 ☎ 242−0043
平日PM6〜AM2 日祝PM6〜AM0

デルフィネス、パラガジョスの唄声に続いて、ダイヤのハーモニーと水晶のギター「ロス・トレス・ディアマンテスが12月1日に来店。予約制。
7時・9時・11時の3回公演。各ステージ共五五〇〇円
（ドリンク&スナック付）

ステーキ&ドリンクス

神戸館

生田区下山手通2 アマツビル1F
（生田新道農業会館向い） ☎ 321−2955
平日PM5〜AM1 祝日PM4〜PM10日曜休



食欲の秋、本格派のあなたを満足させる〝神戸館〟の最高の味。ジューッと焼ける神戸肉に舌つづみを打ちながらの秋の宵をお過ごし下さい。9時〜11時頃が比較的空いています。

炭焼ステーキ

ビフテキの凱旋門

三宮農業会館東駐車場北 ☎ 321−3378 第1・3月曜休
平日PM4〜AM1 休日PM1〜PM11

「ほらっ、私たちの食べてるお肉はあれじゃない？ 炭焼きステーキってグーね」
「うん、美味い！ ここなら値段も安心して食べられるしね」

Night in Kobe

水割りのグラスを手にするのが嬉しい季節です。そしてスインギーなジャズに酔える夜です。ここ〝レオパルド〟で、あなたの秋の宵をお楽しみください。

LEOPARD

生田区中山手通2
東門ダイワナイトプラザ6F
☎ 391－0992・2125
PM6～無休

施工　オリジナルインテリア藤井正商店

秋深き夜、ギターの伴奏に合わせて唄って、飲んで、そして愉快なママと語り合う、そんな雰囲気の店〝阿羅仁〟で今夜も楽しい夜をお過ごしください。

SNACK

阿羅仁

木村琳代
あらじん

生田区中山手通1
生田区中山手通1　☎ 391－0865
PM6～AM1　無休

スナック

聚利

生田区下山手通2－8☎ 321－0260
平日　PM6～AM1
日祝　PM5～PM10　無休

手づくりの田舎料理と京都から直送の漬け物。あなたのホームバー〝聚利〟の三階のお部屋は、ゆったりと落ち着いた雰囲気の中での会議や商談、小パーティにご利用ください。

Café et Restaurant

UN DEUX TROIS

あんどうとわ

生田神社西　伊藤ビル1F　☎ 391－8639
PM5～AM1　日休

木とレンガのシンプルなインテリアの店内に流れる生演奏とフランス料理は、若い人たちのフィーリングにぴったり。（女性ヴォーカル（月・水）ピアノ演奏（金）男性ヴォーカル（土））

メニュー　ポンファン／一二〇〇円　ストロガノフ／一二〇〇円ほか
仔牛のクリーム煮／一二〇〇円

忘年会・新年会の予約はお済みですか？

ステーキハウス山崎では30名様までの各種パーティを承っています。
ご予約・お問い合わせはマネージャーの橋口までご連絡下さい。

電話078（391）3335

山崎
ステーキハウス
神戸市生田区中山手通1丁目前川ビル1F
TEL 391－3335
5:00P.M.～1:00A.M. 日曜定休

スタンド
チエック

生田区中山手通1丁目84－1
林ビル2F
☎ 332－1456

ママをはじめさわやかな感じの女性の揃っているのが魅力。そのせいか客層も仲々巾広い。　キリンビール（小）500　ロバートブラウン／キープ6,000　水割 500　6：00PM～0：00AM　日曜祭日休み

ゴルゴ13

生田区中山手通1丁目74－2
東門筋三角ビルB1
☎ 391－5853

アッサリとしたインテリア、ママの丹精込めた植木、オレンジの光のあふれる可愛い感じの店。キリンビール（小）500　ロバートブラウン／キープ6,000　水割 500　6：00PM～0：00AM　日曜祭日休み

Prussian（プルシアン）

生田区中山手通1丁目74－2
東門筋三角ビル2F
☎ 392－1931

チーフの釣った魚が調理されてつき出しになったりする。それを目当てに来る人も多いとか。　キリンビール（小）500　ロバートブラウン／キープ6,000　水割 500　6：00PM～1：00AM　日曜祭日休み

HOLLY HOCK
ホーリーホック

生田区中山手通1丁目91－18
☎ 391－0510

鍋焼き、湯ドウフ、おにぎりなど軽い食事のメニューも豊富。ステキな女性の多い楽しいムードの店。　キリンビール（小）500　ロバートブラウン／キープ6,500　水割600　6：00PM～1：00AM　無休

PUB & RESTAURANT

UPLANDS

生田区加納町3丁目
1－34
☎241－8271

ブランコ

生田区中山手通1丁目24－7
ダイワナイトプラザ2F
☎231－2000

KOBE DRINKING GUIDE

SNACK

Java

生田区中山手通3丁目52
☎321-4928・331-5138

DRINKING IS AN ART OF LIFE

WOODHOUSE

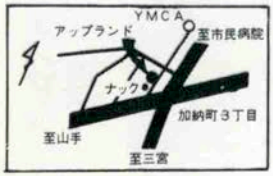
生田区中山手通1丁目32
山内ビル
☎241－7320・7983

☆今夜の“**アップランド**”は実に賑やかです。マスターのトニーの仲間が集っているからです。いつも陽気な仲間たちがアルコールのせいもあって一層陽気になり、冗談をとばし合ったり、チャーリーの歌声に耳を傾けたり、楽しいムードがいっぱいです。あなたがこの場に居合わせていたら、きっと初対面の人にでも気軽に話しかけ、すぐに仲間になってしまうでしょう。そんな気安さがあるのです。

どこからか「枯葉」のメロディーの流れてくる季節。秋の夜長を“アップランド”の愉快な仲間たちと一緒に過ごしてみませんか。

☆ローストビーフ¥2,700 ポークソーセージ¥900 シェパーズパイ¥850 ステーキ&キドニイパイ¥800 フィッシュ&チップス¥600 コーニッシュパースティ¥600 J&B、G&G、OLD、ビール各¥400

5:00PM～3:00AM　日曜6:00PM～3:00AM 無休



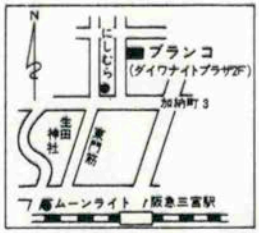
アップランド

KOBE DRINKING GUIDE

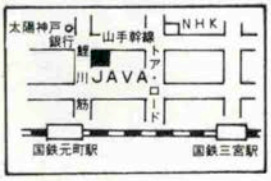
☆クラブ“ムーンライト”を巣立ったママのとも子さんの店“**ブランコ**”も一年半になりました。「うちの店は色気はないんですが、静かにお酒が飲めて、お客さま同士が気楽に語り合える、そんな場所にしたいんですよ」オープン以来のこのママの考えが店づくりにも反映していて、年配の人にも、若い人にも、値段が手頃で、気軽に飲める店だと好評。三宮の雑踏を離れた静かな山の手の“ブランコ”は、アットホームな雰囲気のあなたのお店です。

☆ボトル/カティーサーク¥9,000 オールド、G&G各¥7,000 水割/カティーサーク¥600 オールド、G&G各¥500 おじや¥600 他に軽食もあります。

5:30PM～0:30AM　年中無休



ブランコ

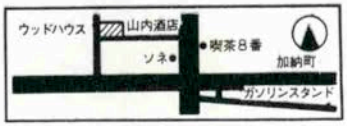


ジャヴァ

☆三宮・元町でのショッピングのあとのトア・ロードから北野町への散策――。神戸のステキなデートコース。そんなときにお立ち寄りになりませんか。ファッショナブルでシャレたインテリアはきっとお気に召すでしょう。ティータイムでの楽しいおしゃべり、スナックタイムでの心地よい酔い。どれも最高です。夜8時からはピアノとギターの弾き語りがムードを一層盛り上げます。お食事では焼き肉が自慢料理です。また、結婚披露宴や同窓会など30名様程度のパーティにもご利用いただけます。（飲み放題、食事・バンド付きでお1人様5千円から、ティーパーティーは3千円から）家庭的な雰囲気と洗練された神戸センスの店です。

☆コーヒー¥250 定食¥600 サンドイッチ・スパゲティ・ピラフ各¥400 焼き肉（120g）¥2,000 オールド/ボトル¥6,500 ビール¥400　水割¥500

10:00AM～6:00PM（ティータイム、月曜定休）6:00PM～3:00AM（スナックタイム、日曜定休）



ウッドハウス

☆秋も深まり行く今日この頃、“**ウッドハウス**”ファンのみなさまにはいかがお過ごしですか？

“ウッドハウス”の常連さんご紹介第3弾。今宵、ピアノのそばでグラスを傾けるおふたりさん。女性の方は、ン年前にも「神戸っ子」に載ったという話。“ウッドハウス”でみかけるカップルは、シャレたセンスと粋なエスプリが身についたステキなカップルばかりですが、今宵のおふたりもまさにそう。いい店にはいい常連が集まるんですねえ。えっ、いい常連が集まるからいい店になるんだって……。ハイ、その通りです。

☆ビール(小) ¥400　水割(OLD)フィズ各¥500　おつまみ¥150 スパゲティ・ピラフ各¥500 ボトルキープもしています。

平日 5:00PM～2:00AM　日曜5:00PM～0:00AM

第1・第3月曜休み